

稲盛和夫名誉会長はJAL 165名の不当解雇を撤回せよ！

<空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！>

JAL闘争を支える京都の会News

No.12

2012.12.2

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX:075-531-3856 E-mail:komai123@kfa.biglobe.ne.jp



J A L 不当解雇撤回裁判にご支援ください

日本航空は2010年12月31日、パイロット81名、客室乗務員84名の合計165名に及ぶ大量解雇を実施しました。2012年3月29日、30日、JALの不当解雇撤回を求めるパイロット及び客室乗務員の裁判において、東京地裁は原告主張を退け、解雇は有効とする不当判決を下しました。乗員71名・客室乗務員71名、計142名は東京高裁に提訴し、解雇撤回・原職復帰を目指して勝利するまで闘う方針を打ち出しました。これからの闘いに、より一層の皆様のお力をお貸しください。

2010年1月破綻後、ベテランを中心に約2400名の社員(JAL本体)が職場を追われ

+

それでも人員削減が足りないとして、165名が整理解雇されました。

+

職場では賃金低下・労働条件低下・年休取れず体がつきつい状況に。



解雇による職場の動揺・不安
仕事へのモチベーション低下



どの職種も退職者が止まらない。パイロットは昨年1月から今年9月までで98名も自主退職し、他社へと移っています。

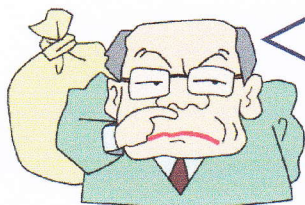


高利益・再上場の方で、人員不足に拍車がかかり、不安全事故が続く



「いかに儲けるか」安全より利益の経営陣？

稲盛会長（現名誉会長）



利益なくして安全なし。私のフィロソフィー教育を徹底しよう。京セラの50億円特別融資でまた儲かった。「航空法も安全アドバイザーグループも知りません。」（昨年の証人尋問での証言）

加藤管財人代理（当時）

まずは京セラのように内部留保（1兆円）を超えてから安全について語ってほしい。

